

別記第1号の2様式

研修カリキュラム表（障害者居宅介護従業者基礎研修課程 通学・通信）

事業者名 _____

講 義（25時間）		講 義（ 時間）	
社会福祉に関する知識 7時間		社会福祉に関する知識 時間	
サービス提供の基本視点	3		
障害者（児）福祉の制度とサービス	2		
高齢者保健福祉の制度とサービス	2		
ホームヘルプサービスに関する知識と方法 13時間		ホームヘルプサービスに関する知識と方法 時間	
ホームヘルプサービス概論	3		
サービス利用者の理解	3		
介護概論	3		
家事援助の方法	4		
関連領域の基礎知識 5時間		関連領域の基礎知識 時間	
医学の基礎知識	3		
心理面への援助方法	2		
追加カリキュラム			
演 習（17時間）		演 習（ 時間）	
共感的理解と基本的態度の形成	4		
介護技術入門	10		
ホームヘルプサービスの共通理解	3		
追加カリキュラム			
実 習（8時間・在宅サービス提供現場見学）		実 習（ 時間・在宅サービス提供現場見学）	
デイサービスセンター見学	5		
ホームヘルプサービス同行訪問見学	3		
追加カリキュラム			
計 50 時間		計 時間	

別記第1号の3様式

研修カリキュラム表（重度訪問介護従業者養成研修 基礎課程・追加課程 通学 **通信**）

事業者名 ライフサポートやすらぎ株式会社

【基礎課程】

講 義（3時間）		講 義（3時間）	
重度の肢体不自由者の地域生活等に関する講義	2	同左	2
基礎的な介護技術に関する講義	1	同左	1
追加カリキュラム			
		演 習（4.5時間）	
		基礎的な介護と重度の肢体不自由者とのコミュニケーションの技術に関する演習	4.5
実 習（7時間）		実 習（2.5時間）	
基礎的な介護と重度の肢体不自由者とのコミュニケーションの技術に関する実習	5	同左	0.5
外出時の介護技術に関する実習	2	同左	2
追加カリキュラム			
計 10 時間		計 10時間	

【追加課程】

講 義（7時間）		講 義（7時間）	
医療的ケアを必要とする重度訪問介護利用者の障害及び支援に関する講義	4	同左	4
コミュニケーションの技術に関する講義	2	同左	2
緊急時の対応及び危険防止に関する講義	1	同左	1
追加カリキュラム			
実 習（3時間）		実 習（3時間）	
重度の肢体不自由者の介護サービス提供現場での実習	3	同左	3
追加カリキュラム			
計 10 時間		計 10時間	

別記第1号の4様式

研修カリキュラム表（重度訪問介護従業者養成研修 統合課程 通学・通信）

事業者名 _____

講 義（11時間）		講 義（ 時間）	
重度の肢体不自由者の地域生活等に関する講義※	2		
基礎的な介護技術に関する講義	1		
コミュニケーションの技術に関する講義	2		
喀痰吸引を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義①※	3		
経管栄養を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義②※	3		
追加カリキュラム			
演 習（1時間）		演 習（ 時間）	
喀痰吸引等に関する演習※	1		
追加カリキュラム			
実 習（8.5時間）		実 習（ 時間）	
基礎的な介護と重度の肢体不自由者とのコミュニケーションの技術に関する実習	3		
外出時の介護技術に関する実習	2		
重度の肢体不自由者の介護サービス提供現場での実習	3.5		
追加カリキュラム			
計 20.5 時間		計	時間

(注) カリキュラム名の後ろに※がある科目は、社会福祉士及び介護福祉士法施行規則（昭和62年厚生省令第49号）附則第4条及び第13条に係る別表第3第1号に定める基本研修に相当する研修課程とする。

別記第1号の5様式

研修カリキュラム表（重度訪問介護従業者養成研修 行動障害支援課程 通学・通信）

事業者名 _____

講 義（6.5時間）		講 義（ 時間）	
強度行動障害がある者の基本的理解に関する講義	1.5		
強度行動障害に関する制度及び支援技術の基礎的な知識に関する講義	5		
追加カリキュラム			
演 習（5.5時間）		演 習（ 時間）	
基本的な情報収集と記録等の共有に関する演習	1		
行動障害がある者の固有のコミュニケーションの理解に関する演習	3		
行動障害の背景にある特性の理解に関する演習	1.5		
追加カリキュラム			
計 12 時間		計 時間	

別記第1号の6様式

研修カリキュラム表（行動援護従業者養成研修課程 通学・通信）

事業者名 _____

講 義（10時間）		講 義（ 時間）	
強度行動障害がある者の基本的理解に関する講義	1.5		
強度行動障害に関する制度及び支援技術の基礎的な知識に関する講義	5		
強度行動障害がある者へのチーム支援に関する講義	3		
強度行動障害と生活の組立てに関する講義	0.5		
追加カリキュラム			
演 習（14時間）		演 習（ 時間）	
基本的な情報収集と記録等の共有に関する演習	1		
行動障害がある者の固有のコミュニケーションの理解に関する演習	3		
行動障害の背景にある特性の理解に関する演習	1.5		
障害特性の理解とアセスメントに関する演習	3		
環境調整による強度行動障害の支援に関する演習	3		
記録に基づく支援の評価に関する演習	1.5		
危機対応と虐待防止に関する演習	1		
追加カリキュラム			
計 24 時間		計 時間	

別記第1号の7様式

研修カリキュラム表（同行援護従業者養成研修 一般課程・応用課程 通学・通信）

事業者名 _____

【一般課程】

講 義（12時間）		講 義（ 時間）	
視覚障害者（児）福祉の制度とサービス	1		
同行援護の制度と従業者の業務	2		
障害・疾病の理解①	2		
障害者（児）の心理①	1		
情報支援と情報提供	2		
代筆・代読の基礎知識	2		
同行援護の基礎知識	2		
追加カリキュラム			
演 習（8時間）		演 習（ 時間）	
基本技能	4		
応用技能	4		
追加カリキュラム			
計 20 時間		計 時間	

【応用課程】

講 義（2時間）		講 義（ 時間）	
障害・疾病の理解②	1		
障害者（児）の心理②	1		
追加カリキュラム			
演 習（10時間）		演 習（ 時間）	
場面別基本技能	3		
場面別応用技能	3		
交通機関の利用	4		
追加カリキュラム			
計 12 時間		計 時間	